

若宮校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成22年7月27日(火) 19:00~21:00
場 所 若宮公民館
参加者数 男 35人 女 19人 合計 54人



1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名1. (「地域福祉について」 独居高齢者男性の増加対策—1)

<質問>

60歳以上で、困った時に頼れる人がいない人や、近所付き合いのない人が増加しています。このような事により、高齢者の孤独死、犯罪、悪徳商法の被害などの問題が、今後深刻になっていくことが予想されます。

これらの問題に対して、地域社会で住民同士がお互いに支えあっていく体制づくりが必要となりますので、市全体で取り組めるよう行政として体制を作っていただきたい。

<回答 市長>

高齢者が増加していく中において、高齢者を孤立させないための支援が一層大切となっています。この支援策として、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けていくためには、地域での見守りが大変重要と考えていますので、地域ケアネットワーク推進協議会を各小学校校区単位で開催しているところですが、地域社会で住民同士が支えあっていく体制づくりに向け、さらに自治会や社協支部などと協議してまいります。

課題名2. (「地域福祉について」 独居高齢者男性の増加対策—2)

<質問>

独居高齢者男性の増加により、引きこもり者の増加が予想されています。健康で生きがいのある人生を送るために、どのようにして交流して貰うかが大変難しい問題です。そのために、一人でも多くの人に参加できるよう、交流を図る施設（グラウンド）を公民館周辺に作ってほしい。

<回答・市長>

高齢者に健康で生きがいのある生活を送っていただくために、老人広場を市内67カ所に設定しています。若宮校区につきましては、住友化学健保グラウンドを老人広場と認定しており、公民館を窓口とした学校開放事業も実施されています。

要望の場所は、若宮小学校のグラウンドの一部となっており、学校教育の目的に供する土地であるため、児童の教育目的以外への転用につきましては困難です。また、現地は、子どもたちが教育の一環としての学校菜園として使用している場所でもあります。

この件については、教育委員会と相談していきたいと思います。

2. 校区設定市政課題

課題名（ 安心して暮らせるまちづくりについて ）

<質問>

住民が安心して暮らせる地域とするためには、地域の自主防災組織の活動が非常に大切となっています。活動に際しての資機材等の予算確保のため、活動に際しての支援を頂きたい。

<回答 市長>

若宮校区連合自主防災組織に対しましては、平成17年度に新居浜市自主防災組織育成支援事業、平成21年度には地域防災スクールモデル事業等において、防災資機材を整備してまいりました。新居浜市内では一番充実していますので、ご理解をいただきたいと思えます。

今後も、自治会の既存備蓄品を活用した訓練、パンフレット等を用いた啓発などへの協力、支援を行ってまいります。

3. 地域課題

課題名（ 県道病院前地下道周辺の環境美化について ）

<質問>

平成11年に完成した県道病院前地下道は、婦人会によるボランティア活動に支えられてきましたが、現在維持が出来なくなり活動が中止されています。

そのため、雑草が生い茂りゴミが投棄されるなど、外部から訪れた人にも大変恥ずかしい状況になっているため、施設管理側で委託契約を結び、周辺の施設も合わせて環境を良くしていただきたい。

<回答 市長>

愛媛県からは、次のような回答をいただきました。

「現状の施設管理は、安全に道路利用ができるよう巡視及び維持作業を行っており、異常時には点検を実施しておりますが、ゴミについてはご要望に十分お答えできていないのが現状です。

平成13年より「えひめ愛ロード運動」を展開し、各住民自体が自主的な活動に参加していただくよう呼びかけています。こういった活動が、地域コミュニティーの形成にもつながっていきえるものと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

以上の回答ですが、自治会としては対応が難しいということを改めて県に伝えます。

(市道路課から東予地方局道路課に対し、「自治会としては高齢化もあって以前のような対応は無理である。」と申し入れ済です。)

課題名 (地域環境改善「若宮小学校グラウンド照明灯の増強について」)

<質問>

若宮小学校のグラウンドの照明は、1塔に6灯しかなく暗くて危険なので、2灯ずつ増設していただきたい。

<回答>

今年度まで、学校グラウンド照明の改善については手付かずの状況でしたが、第5次長期総合計画の学校開放照明設備整備事業に組み込んで、市内全体の中で優先順位を決めて、整備をしていく予定です。

4. その他

課題名 (県廃棄物処理センター低濃度PCB焼却問題について)

<質問>

新田町の住民としては、PCB焼却の問題について新聞報道以外に情報を得ることがありませんので、情報公開していただきたい。

<回答 市長>

この件に関しては、県廃棄物処理センター、磯浦連合自治会及び新居浜市の間で、覚書を締結しています。市民全体に対しては、昨年10月に低濃度PCB処理計画説明会を開

き、公にご意見をお聴きしたところであり、今後ご質問に対するお答えや、経過等の説明もあろうかと思えます。

<質問>

PCB焼却の情報については、県のホームページだけではなく、市のほうでもホームページ以外の手段を含めて広く公開してほしい。

<回答・環境施設課>

県廃棄物処理センターでは、今年7月28日から低濃度PCB焼却の本格稼働に入ったところであり、その情報については県廃棄物処理センターのホームページに記載されているため、今回、新居浜市ホームページのリンク集へ掲載することにより、アクセスし易くしました。

今後、新たな処理計画や事業の拡大があった場合等、必要に応じて別途情報提供の方法を検討したいと思えますが、当面は、当ホームページをご利用いただくとともに市環境施設課へお問い合わせいただければ可能な限り情報提供させていただきたいと思えます。

課題名（ 磯浦雨水幹線について ）

<質問>

磯浦雨水幹線の水を、土ヶ谷川と合流させて排水すると、排水がおかしくなり、今以上に溢れる危険がありますので、大雨時に問題の起こらない様にしてください。

<回答・下水道建設課>

昨年の時点では、磯浦雨水幹線と土ヶ谷川と合流させて排水する方法を検討していましたが、合流させずに新たに吐口を設けて整備する方が現実的であるため、実際に施工する際には新たに吐口を設けて整備するという形になると思えます。

現実的には、県道占用の許可を受けることや、吐き口の設置には地権者の許可が必要となりますので、しばらく時間がかかりますがご協力をお願いします。

課題名（ 県道植樹の毛虫対策について ）

<質問>

昨年も課題提案したが、今年の県道壬生川新居浜野田線の街路樹管理（毛虫・剪定）はどうなっているか。

<回答・市長>

今年も昨年同様に実施してもらえらると思えますが、具体的な時期については、確認のうえ後日回答します。

※ 東予地方局道路課からの回答

(毛虫対策) 6月に一度消毒液の散布を行ったが、最近増えてきているとの情報もあり、状況を見ながら対応してまいります。

(剪定) 低木の剪定は、市境(磯浦町)から前田町までの間を業者発注し、順次実施しております。ただし、維持管理費が少ないことから、前年度の冬時期に剪定した箇所は除いております。高木については、現在剪定業務の発注はしていませんが、枝が道路にはみ出すなどの状況を確認しながら対応します。